

福島第一原子力発電所現地確認報告書

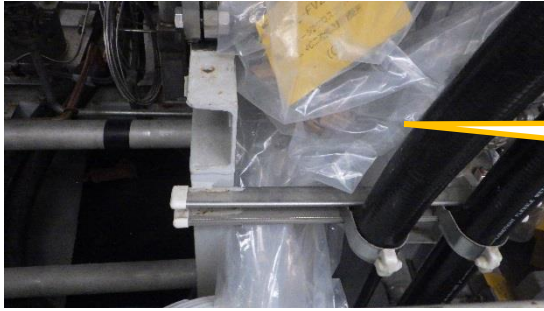
- 1 確認日
平成31年2月13日（水）
- 2 確認箇所
既設多核種除去設備
- 3 確認項目
既設多核種除去設備(C)からの系統水の滴下事象の対応状況
- 4 確認結果の概要
昨日（2月12日）、既設多核種除去設備(C)から系統水が漏えいした事象について、現場の対応状況を確認した。
 - ・漏えい箇所は、前処理設備であるクロスフローフィルター流量調整弁のフランジ部付近であった。（写真1）
 - ・当該弁まわりは、漏えい拡大防止対策としてビニール養生及び受け容器が設置されていた。ビニール袋内にはウエスがあり、滴下発生箇所は確認できなかったが、10秒に1滴程度、ビニール袋内で水滴が伝っている状況が認められた。
 - ・東京電力によると、今後原因究明し対策を講じるとのことである。



（写真1－1）

ビニール養生

受け容器



(写真1-2) (写真1-1)を拡大

ウエス

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。